

同志社大学

京田辺キャンパス礼拝堂および関連施設 設計提案競技

【主旨】

同志社大学は、1875年に新島襄が創立した同志社英学校を起源とし、キリスト教主義を徳育の基本とする総合大学です。本学京田辺キャンパス(京都府京田辺市)は、理工学部をはじめとする理工系と文理融合系の学部が集積し、「実験・実習、フィールドワーク」を重視する複合的教育拠点、「身体・生命、先端技術、情報」に関しての国際的先端研究拠点として位置づけられています。この度、この京田辺キャンパスにおいて、新たに礼拝堂を建設し、加えてキリスト教文化センター(本学のキリスト教主義教育を推進する組織)施設を増築します。本学は、同志社英学校創立期からの今出川キャンパスに国の重要文化財施設を有する大学であることから、今回建設する礼拝堂等についても、京田辺キャンパスにおけるキリスト教主義教育を象徴し、学生や卒業生、教職員等から100年の後にも愛され続ける建物となることを期待しています。そこで、このような宗教施設の設計に関して、プロポーザル方式による設計提案を求め、この業務に最も適した設計者を選定するものです。



■ 審査委員

- 八田 英二 (同志社大学学長)
- 松岡 敬 (同志社大学副学長)
- 水谷 誠 (同志社大学神学部長)
- 原 誠 (同志社大学キリスト教文化センター所長)
- 芦原 太郎 (芦原太郎建築事務所)
- 岸 和郎 (京都大学大学院教授)
- 横内 敏人 (京都造形芸術大学教授)

■ プロフェッショナルコーディネーター

- 馬場 瑋造 (建築情報システム研究所所長)

■ 賞

- 最優秀作品 / 1点 100万円
- 優秀作品 / 4点 各50万円

■ 施設の概要

- 1) 所在地: 京都府京田辺市多々羅都谷1番地3
- 2) 敷地: 2,540㎡(1/2000図面より算出)
※現行「キリスト教文化センター」施設を含む
- 3) 用途地域: 第1種中高住居専用地域
建築率60%・容積率200%

■ 作品提出先・事務局: 「同志社大学 京田辺キャンパス礼拝堂および関連施設設計提案競技」事務局
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-30-8 株式会社建報社 内 TEL.03-3818-1961

■ 競技スケジュール・審査方法

*本設計提案競技は(二段階審査方式)で行う。

- | | |
|---|---------------|
| ① 応募要項開示 | 2012年10月1日 |
| ② 応募登録期間 | 10月1日～11月16日 |
| ③ 提案図書受付期間 | 11月19日～11月30日 |
| ④ 一次審査会 | 12月中旬 |
| ● 審査は失格要件に抵触する作品を除く全作品について対象とする。 | |
| ● 一次審査通過作品を入賞作品とし、5点程度を選定する。 | |
| ⑤ 最終審査会 | 2013年1月下旬 |
| ● 最終審査会は、一次審査通過作品5点程度をもって行う。 | |
| ● 最終審査は公開ヒアリングで審査する。 | |
| ● 公開ヒアリングは質疑応答を含めて1提案30分程度とする。 | |
| ● 最優秀作品1点、優秀作品4点を選出する。 | |
| ● 一次審査通過者については、最終審査参加補助金として、京都市までの旅費を1名分について補助する。 | |
| ● 出席できない場合は、提出図書のみによって審査委員が判断する。 | |

■ 応募資格

*次に掲げる条件を満たす者とする。
なお、応募するには(登録)を必要とする。

- 1) 建築士法(昭和25年法律第202号)第2条に定める一級建築士である者。(以下「有資格者」とする)。国外からの応募者においては、その国において当該設計競技の対象となる建築物の設計監理業務を行う資格を有する個人であること。
- 2) 有資格者を有する法人。この場合、本競技に関する主務者は有資格者とする。
- 3) 有資格者を主務者とする共同体。この場合、共同体とは個人および法人からなるグループで、連帯して本競技に参加する者とする。
- 4) チーム応募者はチーム名、代表者を1名決めること。
- 5) この業務の設計候補者は、コンペ終了時に当該建築物の設計業務が可能な体制であるか、あるいは書類提出時の有資格者が当該建築物の設計を担当できること。

■ 質疑応答

- 質疑応答は行わない。
- 応募者は要項の記述を許容範囲の中で解釈して作品に反映させるものとする。法規や機能・コストとの整合は実施設計時に行うものとする。